

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道185号 安芸津バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：広島県 東広島市 安芸津町 風早 至：広島県 竹原市 吉名町 八代谷			延長	6.1km
事業概要					
一般国道185号は、広島県呉市から広島県三原市へ至る延長約72kmの主要幹線道路である。当該事業は、異常気象時の高潮や越波による路面冠水区間の回避や、津波浸水により到達が困難となる地域への緊急物資輸送を目的とするとともに、道路幅員が狭く平面曲線や縦断勾配の急な区間などの道路線形不良箇所が多数ある現道において、安全性の向上による地域経済の活性化・産業活動の効率化などを目的とした道路である。					
H11年度事業化		H10年度都市計画決定 (H23年度変更)		H13年度用地着手	
H17年度工事着手					
全体事業費	約185億円	事業進捗率	31%	供用済延長	1.5km
地域の防災面の課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年8月には、台風による路面冠水により国道185号で約3時間にわたり通行止が発生、また翌月9月には、越波による通行規制が発生しており、大幅な迂回を強いられている。 ・また、当該箇所は地震発生時の津波浸水想定範囲に該当しており、国道185号では津波浸水により通行機能に障害が発生する可能性がある。 					
課題を踏まえた対策・事業内容					
<ul style="list-style-type: none"> ・国道185号（安芸津バイパス並行区間）には、道路幅員が狭く平面曲線や縦断勾配の急な区間などの道路線形不良箇所や歩道未整備区間が存在しており、安全性が損なわれている。これらの課題を解消するためにはバイパスによる整備が必要となる。 					
事業の効果等				費用 (残事業) / (事業全体)	
○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 (248億円(残事業163億円)) ○地域住民の不安感の解消 (187億円) <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の迂回ルート確保による不安解消 ・通行止め時の医療サービスが享受出来なくなる不安解消 ・線形不良箇所の走行に伴う精神的疲労の軽減 ・交通転換による並行現道の歩行者・自転車通行の快適性向上 ○交通事故件数の削減 ○地域医療の支援(安静搬送)				115 / 189 億円 (事業費：103 / 173 億円 維持管理費：12 / 17 億円)	
関係する地方公共団体等の意見					
安芸津バイパスは、地域経済の活性化や産業活動の効率化等に重要な役割を果たすことが期待されており、東広島市長はもとより、地権者等関係者で構成される「安芸津町基幹道路等基盤整備促進同盟会」により、早期整備の要望を受けている。					
広島県知事の意見：対応方針(原案)については妥当である。 安芸津バイパスは、現道において、異常気象時に越波や路面冠水による通行止めが発生している区間があり、防災上の観点から重要な道路であると考えております。 現在、一部区間が供用されているものの交通転換が進まず、バイパスとしての機能が十分に発揮されていない状況となっております。 今後も引き続きコストの縮減に努めながら、早期の供用開始に向け、計画的に整備を進めていただきたい。					
事業評価監視委員会の意見					
事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針(原案)について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。 審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は、妥当であると意見集約した。					

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・東日本大震災を踏まえ、広島県において津波浸水想定が新たに公表された。	
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・平成 25 年 5 月末で用地買収は約 25%完了している。 ・平成 25 年 3 月末で事業進捗は約 31%完了している。	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・平成21年3月に（主）安芸津下三永線から（市）上条浜田線までの区間（L=1.5km）が部分開通している。 ・投資効果の早期発現を図るため、段階的に整備を進めており、残る4.6km区間の早期全線開通を目指し、事業を推進する。	
施設の構造や工法の変更等 ・今後の事業の実施にあたっては、コスト削減を図りつつ事業を推進していく。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由 事業の必要性に変化はなく、防災面の効果が見込まれるため。	
事業概要図	
<p>The map illustrates the Akitsu Bypass project (L=6.1km) connecting Higashihiroshima City and Takahara City. Key features include: <ul style="list-style-type: none"> Existing Section: A 1.5km section (2 lanes) between Higashihiroshima and Takahara, partially opened in H21.3.29. Planned Section: A 4.6km section extending from Higashihiroshima to Takahara, including three tunnels: Mizuura Tunnel (L=270m), Mizuura Tunnel (L=420m), and Mizuura Tunnel (L=330m). Other Features: The route passes through the Akitsu Bypass (L=585m) and Mizuura Tunnel (L=330m). It also shows the Akitsu Bypass (L=6.1km) and the Mizuura Tunnel (L=330m). Road Types: The project area is primarily composed of National Route 185 (solid black line) and Prefectural Route 185 (dashed red line). Other road types include Main Prefectural Road (green), General Prefectural Road (blue), and Municipal/Other Road (orange). </p>	

※ 1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後 50 年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。

※ 2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。